

## 5 手術全身麻酔件数

### ▶ 項目の解説

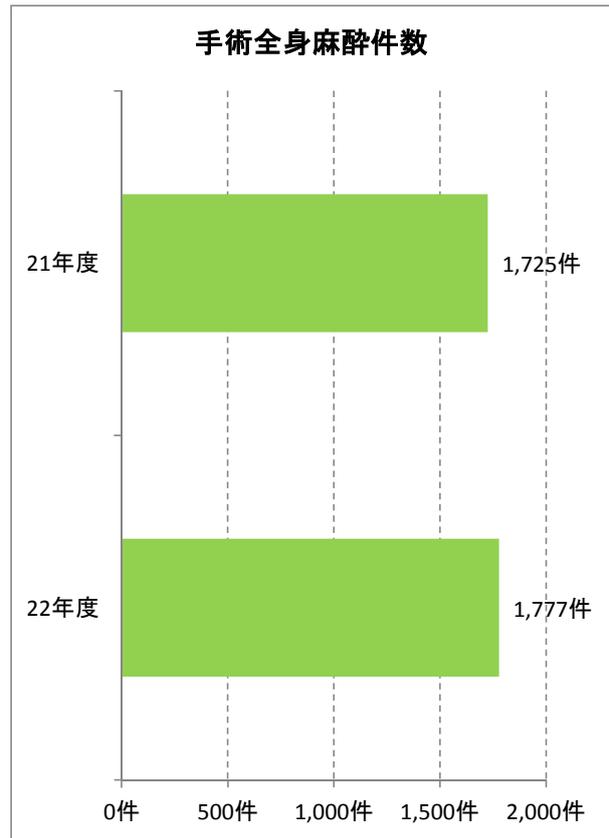
局所麻酔と全身麻酔では、手術件数としては同じですが、麻酔に関わるスタッフへの負担が大きく異なります。ここでは麻酔科の関与する全身麻酔を指標とし、高度な診療のプロキシとします。

小児の画像診断等でも全身麻酔が使用される場合がありますが、ここでは手術に限定します。体位等により、一手術中に複数の「L008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」が算定されますが、一連の麻酔で1件とします。

### ▶ 定義

手術室における手術目的の全身麻酔の件数。

検査等における全身麻酔件数は除きます。算出に際しては各病院で管理実態が異なるため麻酔台帳等ではなく、医事算定を用います。



## 6 重症入院患者の手術全身麻酔件数

### ▶ 項目の解説

重症患者の全身麻酔下の手術では、その他の患者の手術と比較してリスクが高く、術前、術後の管理も含めて十分な対応が必要となります。重症心不全等、麻酔管理の難しい重症患者の手術ができる診療能力の高さを表します。

ここで「重症患者」とは、医科点数表にある「麻酔困難な患者」と定義します。体位等により、一手術中に複数の「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」が算定されますが、一連の麻酔で1件とします。

### ▶ 定義

「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」算定件数。

算出に際しては各病院で管理実態が異なるため麻酔台帳ではなく医事算定を用います。

